

特67

449

明治癸巳說諭

全

014667-000-5

特67-449

明治癸巳說諭

向後 源治/著

M27

ABB-1099

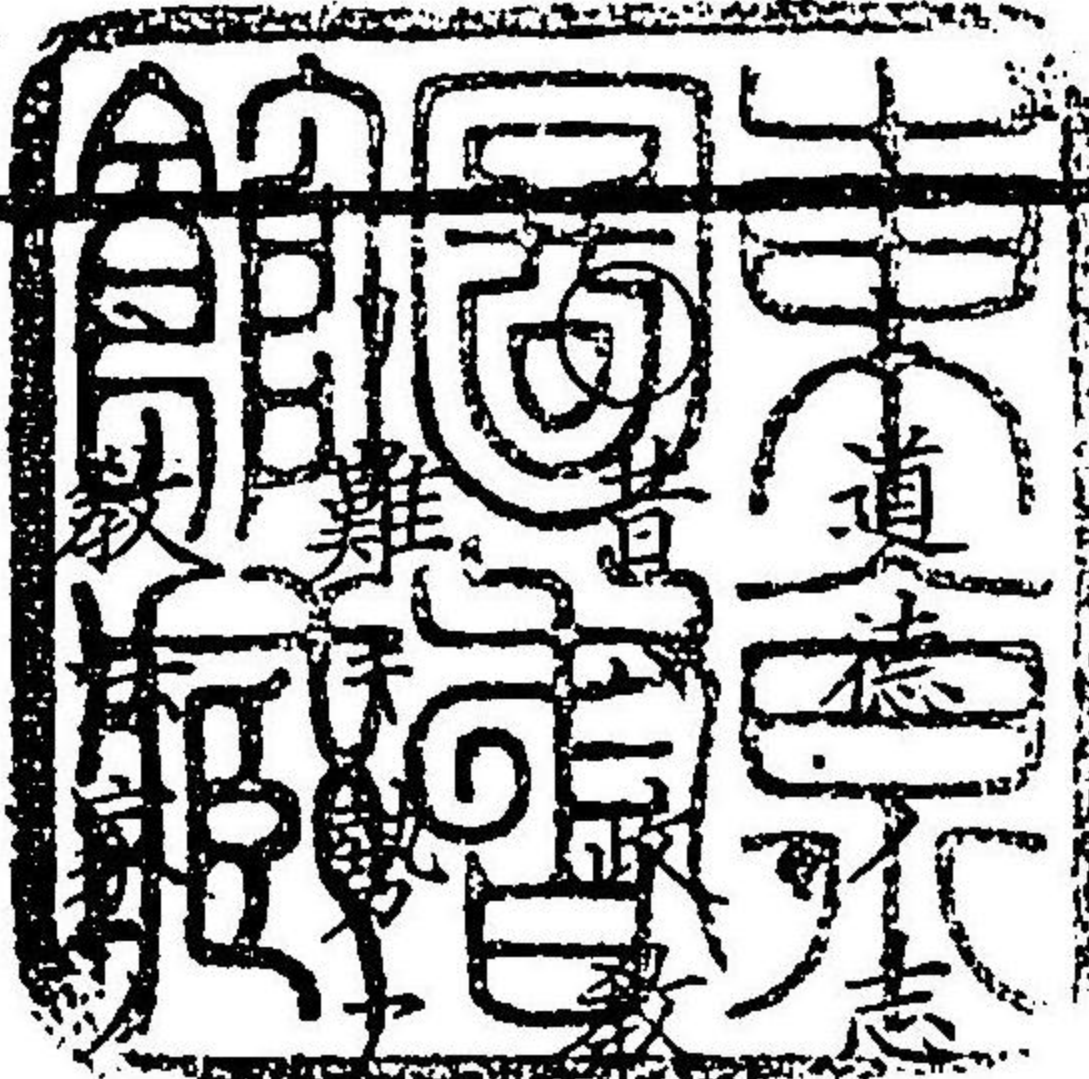


明治癸巳說論

明治癸巳說論

神道修成派

向後源
加藤又三



○道德ハ國ノ基礎ナレバ首トシテ忠孝ノ大義ヲ行

操ヲ立シムベシ

一致ナレバ今ノ御政體ハ政教一致ニナ

リテ別途トナレリ形ヨリシテ上ナル道

任トナリ形ヨリシテ下ナル器ニ屬スル

モノハ政府之レヲ掌ル明治十七年教導職ヲ廢セラ

レテ政府其辭令書ヲ渡ス無ク各管長ヨリ渡スト

ナレリ實ニ管長ハ形而上ナル道ヲ行ヒ道德ヲ天下
ヘ布ク処ノ職掌ナリ

○我國ハ神國ナレバ必ズ神祇ヲ信仰スベシ神祇ヲ
敬拜スルハ我邦ノ道ナリ且神祇ヲ信仰スレバ靈驗
アルト信シ信仰敬拜シ決シテ外國ノ神ヲ拜スベカ
ラズ

○世人ハ從前ノ事ヲ忘レ外ニ馳スルノ弊アリ我派
内ハ我が古典古式ヲ確守シ外國ノ風ニ移ルベカラ
ズ我古道ヲ守リ永世我邦ヲ維持スル志アルベシ
○名アリテ實ナキハ偽ナリ斯名アレバ斯實ヲ行ヒ

ニ顯スベシ當今ノ弊ハ有名無實ナレバ有名有實ニ
至ルヲ要スベシ

○平素節儉ヲ守リ不虞ノ變ニ備ル爲ニ精々金穀ヲ
儲蓄シ置ベシ

○治ニ亂ヲ忘レズ存シテ亡ヲ忘レザルハ聖賢ノ深
ク戒ル所ナリ此戒ヲ守リ今太平至治ノ如クナレバ
何時變故出來ルモ測リ難キト思ヒ變ニ臨ムモ周章
狼狽ノ憂ナキ様豫テ其用心アルベシ

○今當派ノ教師ハ大ニ切ヲ立ベキ時ナレバ今日ニ在
テハ盛ニ我修成道ヲ擴張スル処ヘ盡力ノ志アルベ

シ

○今日ノ平和ヲイツ迄モ平和ト思ヒ因循トシテ時世ヲ憂ヘザルハ邦ヲ亡スノ徒ナリ世ヲ憂ヘテ盡カスルハ邦ヲ保ツノ徒ナリ道德ヲ守ル人ハ邦ヲ保ツナリ道德ヲ忽ニスル者ハ邦ヲ亂スナリ我教師ハ我邦ヲ保チ盛大ナラシムル人傑トナルベシ

○我派内成ベキ所有地ヲ賣ルベカラズ何トナレバ地所ヲ賣レバ權利失ヒ人ニ薄ゼラル、憂アリ故ニ我派内ノ者ハ精々地所ヲ賣ラザル様決心アルベシ

○本派教規ニ教師試補以上ハ天爵ト唱フ此天爵ヲ

管長天神ニ代リ授ルトアリ實ニ天爵ハ尊ケレバ此天爵ヲ受居ル教師試補以上ハ各自其身ヲ修メテ方正ナラシメ直ニ人ヲ教ヘテ忠孝仁義ノ道ヲ守ラシムベシ

○教師ハ人民ノ師表トナルベキ學徳ヲ備フベシ且教師ニシテ信徒ナキハ譬ヘバ村長ニシテ支配スベキ人民無キガ如シ故ニ教師ハ人民ヲ勸誘シテ入社セシメ自己取扱フ所ノ信徒トナスベシ

○信徒ハ教師ニ附屬シ教師ハ教務支局へ附屬スベシ若シ近地ニ附屬スベキ支局ナケレバ最寄ノ教師

協議ノ上新ニ支局設立ヲ願出ベシ

○各教務分局支局ニハ其派内ニテ學識アル者ヲ撰
ビ授業師トシ社員ハ産業ノ餘暇ニ分局支局ニテ當
派教書ヲ誦讀シ其了解シ難キハ其授業師へ質問ス
ベシ且子弟ニハ當派教書ヲ研究セシムベシ其篤志
成學ノ者ハ教師ニ撰舉シ願書差出ベシ先ヅ本派出
版ノ書籍ヲ悉ク誦讀シ了解スレバ初等卒業トス每
年十二月ヲ限り生徒人員及ビ卒業生徒ヲ本派へ届
出ベシ

○利ヲ貪ル慾心ヨリ金錢儲蓄スルニ志シ數萬圓金

ノ得ルモ死シテ持行ク能ハズ殘シ置クナレバ到底
何人ノ手ニ落ルモ測リ難シサレバ金錢ヲ所有スル
ハ顯世ノミニテ死後靈魂ノ益トナラズ猶醉夢ノ如
シ特ニ死後ニ至ルモ朽腐セザルハ名譽ナリ之レヲ
眞實ノ利益トス名顯ハルレバ身死スルモ猶生ルガ
如シ其名譽ノ顯ハル、一ヲ舉レバ教務支局等ヲ設
立シ國ノ爲メ世ノ爲メニ道ヲ明ニシ教ヲ擴ムルニ
在リ

○本派千八十ノ社部ハ各社部内ヨリ充分教務ヲ整
理シ正副社長部長ヲ撰ビ願出ベシ其社部ヲ整理セ

シムルニ就テ願ノ筋ハ差扣ナク申出ベシ

○派内ニテ教師ハ重キモノナレバ言行ヲ方正ニシ過失ナカラシムベシ萬一教師ニテ法ヲ犯シ罪ニ処セラレテハ當派ノ名義ヲ汚スヲ以テ容易ナラザル義ナレバ豫テ正誠ヲ守リ罪ヲ受ケザル様用心スベシ

○從前教導ヲ以テ職務トスル者モ眼前ノ利ニ迷ヒ金錢ヲ取ントスル所行ヨリ大ニ人望ヲ破ル者往々アリ若シ金ニ志アラバ商法ニ入ルベシ教ハ名ヲ揚ルヲ主トス名ハ不朽ニ傳フレバ名ヲ遺スヲ志トシ

專ラ教務ニ實效ヲ立ベシ

○世人口ニハ立派ニ神道ト唱ヘ其實ハ邪説ヲ以テ人ヲ惑ハシ金穀ヲ詐取スル者アルヤト聞ク右ハ正明ノ神道盛ニ行ハレザル故ヲ以テ爰ニ至ルナリ依教師タル者ハ一同奮發シ本分ノ職務ヲ盡シ世人ヲ教導シ斯道盛ニシテ姦邪ノ入ベキ虚隙ナキ如クスベシ

○當時世ノ中ノ人輕薄ニ流ルハ善カラザルヲナリ如此世ニハ風俗ヲ厚クスル心得アルベシ即チ本派ヘ盡カスルハ輕薄ヲ變ジテ篤實ニスル工夫ナリ抑

本派ノ周旋盡カスルハ日本魂ヲ振起シコレヲ抑強ク盡カシテ一旦志シタルハ終身休息スル無ク十分我志ヲ貫徹セシムルニ在リ

○本派社員ハ教務分局支局ニ於テ祭神ヲ敬拜シ且教書ヲ誦讀シ一圖ニ我教法ヲ擴張スルヲ主トシ心ヲ他ヘ傾クベカラズ依テ世間ニ在ル政事ヲ議スル黨衆等ヘ加入セズ我邦ノ根本ナル本派教法ニ從事盡カスル心得アルベシ教規第十六條第二項ニ萬一心得違ノ者アリテ他ノ教法ヲ信ジ本派ヲ離ル、ノ念ヲ生ズレバ本派主神ノ神罰ヲ受ル儀ト心得ベシ

トアリ本派數百萬ノ信徒中大抵固結本派ノ教ヲ遵守スレモ中ニハ人ニ欺カレ心ヲ動スモノナキニアラズ其心ノ動クヨリ神罰ヲ受ルアリ恐ルベシ信徒タル者サヘ如此ナルニ況シテ教師ニテ當派ヘ背クノ心アレバ大罰ヲ受ルハ必然ナリ益以テ恐ルベシ

○遠カラズ當派宗學校ヲ設立致シタキナリ然ル上ハ派内有志ノ子弟ハ入學シ一同人物トナルベシ

○我邦ノ教ヲ盛大ニシ推テ外國ニ推及ス志アルベシ

○毎日太陽ノ運行シテ晝ヲナスナレバ一日モ容易

ナラザル一ナリ油斷ナク我道ヲ擴ルニ注意スベシ
 依テ何事モ勉メ勵ミテ後レヲ取ラザルベシ人一タ
 ビスレバ已レハ百タビ千タビ勉強スル所ノ強キ志
 ニテ行ヒ何事モ人ヨリ後ル、ナク先ヲ取ルベシ五
 大洲萬國ノ勢互ニ強キヲ争フ一ナルニ此尊キ皇
 國ニシテ外國ノ後ニナルベカラズ十分先ヲ取り我
 邦ヲ盛大ニスル所へ盡力實效ヲ立ベシ

明治二十七年十月四日印刷

同 年十月七日出版

定價五錢

千葉縣下總國香取郡東城村二千三百七十番地

著作者

向後源治

東京市本郷區駒込西片町三番地寄留徳島縣平民

同

加藤又三郎

東京市日本橋區大傳馬鹽町十三番地

發行者

山田藤助

東京市神田區錦町壹丁目十三番地

印刷者

彦阪治三郎

